

なごみ

平成二十九年一月 題字 周防 和衛

◇新年のご挨拶

副施設長 笹尾 高弘

新年明けましておめでとうござい
ます。宝塚ちどりが開設して十二回
目のお正月を迎えることができました。
これも皆さまのあたたかいご支
援、ご指導の賜物と心より感謝申し
上げます。

さて、昨年を振り返るとリオデジ
ヤネイロで南米で初めてのオリンピ
ックが開催されました。日本人選手
の活躍もあり、ご利用者と職員もテ
レビでの観戦からではありませんが、
多くの感動を頂きました。おそらく、
読者の皆さまの中でも、夜遅くまで
応援された方もおられたのではない
でしょうか。そして、オリンピック
の話題では、次回の夏季オリンピッ
クの開催地がTOKYOです。前回
は一九六四年の開催ですので、現時
点からの計算では五三年前になりま
す。現在、ご利用されている皆さま

にとって、本当に思い出深い祭典で
あったと思います。二〇二〇年八月
の開催となった場合は、あと残り一
三〇〇日ほど。少し気の早い話です
が、ぜひ、皆さまと引き続きお元気
な姿で、一緒に盛り上がることを楽
しみにしております。

昨年のなごみでも述べさせて頂き
ましたが、宝塚ちどりにはまだまだ
課題も多くありますし、少しばかり
成長した部分もあるかと感じており
ます。時間の経過と共に求められる
ことも変わってきています。その一つに
社会福祉法改正（社会福祉等の一部
を改正する法律）があります。ここ
で詳しく説明すると長くなってしま
いますので、関係する一部をご紹介
させていただきます。社会福祉法人制度
の改革の一つとして「地域における
公益的な取組を実施する責務」とい
う項目があります。これは社会福祉
法人としてそれぞれの地域での公的

なサービスだけでは難しいニーズに
対して、制度の狭間をうめる取組を
求められるものです。宝塚ちどりで
は後述している「ふるまい雑煮」や
「地域交流スペース」の定期的な無料
開放、「地域住民に対する無料での
介護技術講習会」、「夏に開催する地
域の方々と一緒に納涼祭」等を行
っています。今後も引き続き、取
り組んでいく所存です。

その他、福祉人材の確保については、
触れています。人材確保については、
多くの業界でも頭を悩ましている
聞きます。私たちの福祉業界でも人
材確保については
苦慮しています。
簡単ではございま
せんが、法人が一
体となりこの苦難
を乗り越えたいと
考えております。
もちろん、ご利
用者の方々に対し
て、本来行ってい
る介護サービス



の更なる向上を目指していきます。色々と至らない点があるかもしれませんが、今後とも、尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、法改正についての詳細をお知りになりたい場合は厚生労働省のホームページにて掲載されていますので、そちらをご確認下さい。

■委員会報告

◇事故防止委員会

十二月も前月に引き続き事故防止委員会で館内のラウンドを行いました。回数を重ねていくにつれて、各部署の職員が事故



防止に向けて取り組んでいる姿勢が以前より見られるようになってきました。具体的には①書類の整備（散らかっていた書類の保管場所の変更・整理を行う事で探す手間が減り、書類を読む時間の確保が出来るよう

になった）②会議での協議時間の確保することがより意識出来てきた。事故・ヒヤリハット事例が発生した時には気をつけようと各職員注意を払います。時間が経過しても予防に関する意識が薄れないために、改善策が機能しているか。このことについて振り返り時間を設けることできてくるユニットが増えてきたことを、ラウンド中に確認しました。

ある部署では、事故・ヒヤリハットの内容を一定期間後にも正・準職員が中心となり、ユニットの職員全員に口頭で周知（申し送り）しています。一度聞くだけでは、忘れてしまいう事もありました。しかし五人から六人の正・準職員から一つの報告書の内容を聞くと「知っている、このような処置・対応ですね」と働く職員全員が答えられることを目指しています。適正な行動が出来るように変化してきております。（大亀）

◇感染症対策委員会

今年、例年とタイプの異なる新

たな型のノロウイルスの流行が拡大すると言われています。感染症衛生委員会では注意喚起を促すポスターを作成し、各ユニットへ配布いたしました。

また、十一月より四カ月間、各ユニットがノロウイルスへの対処方法を修得できているか、ラウンドチェックを行っています。それと並行して、対応物品の在庫チェックも行っています。

十二月には、へ仁川・武庫川ユニットへへふじ・すみれユニットへノロウイルス発生時の疑似体験を、ノロウイルスの対応マニュアルに沿って職員に実施して頂きました。エプロン・ゴーグル・ビニール帽子など装着に手間取る事もありましたので、再度行動できるように確認しています。（熊谷）

ノロウイルスが感染拡大しています

嘔吐・発熱・腹痛
→の症状が出たら気を付けて！

そうなる前に…

1.手洗い・2.うがい・3.マスクの着用
しっかりと！
しっかり手洗い、冬を乗り切りましょう！

宝塚ちどり感染症予防対策委員会 2016年12月13日発行

◇研修委員会

平成二十九年一月に実施予定の急変時対応研修について打ち合わせを行いました。体調不良や事故発生時にどのような対応が最善かを、各職員が考える内容です。また日中夜間わず起こりうる可能性がある体調の急変について、正しい対応を学ぶためにどのような研修が良いかを検討致しました。当委員会には、看護師も参加しており研修計画案作成にあたり、医療面からの意見も出て介護分野と医療分野からの視点による研修資料作成を行っています。

来月号のなごみでは、研修実施後の報告をさせて頂こうと考えています。(池下)

◇地域交流委員会

今月の委員会では、三月に開催する予定の『認知症予防講習会』の内容について話し合いを行いました。近年、認知症への関心や理解が深まってきていますが、いざ予防しようと思うと「何をしたらいいの？」と

疑問に思われる方がいらっしやると思っています。そんな方たちと一緒に、認知症の方との接し方(認知症の概要やコミュニケーションの方法など)をはじめ、脳トレや体操なども含めながら楽しく認知症予防について学んでいけたらと考えています。

皆様に充実した時間を過ごして頂けるよう、今後も話し合いを進めて参りたいと思います。(井上)

◇給食委員会

十二月二十二日には毎年恒例のクリスマスケーキ作り(コンテスト)を行いました。各ユニットで、サンタの飾りや苺・チョコシート・ポッキーなどをトッピングし、色とりどりにデコレーションされたケーキが出来上がりました。ご利用者と職員がコンテスト一位を目指してアイデアを出し合いながら、一丸となっている光景が印象的でした。



クリスマス当日は行事食を用意しました。ケチャップライスとプレートに盛り付けられた洋梨ゼリー・マカロニサラダ・林檎の赤ワイン煮・ミニオムレット・ミートローフ・グリーンシチュー・サーモンのカルパッチョ・マッシュポテト・チキンナゲットと盛りだくさんのメニューを前に、ご利用者の皆様も大変満足されました。厨房からの素敵なおプレゼントとして、普段とは違う雰囲気味わう事が出来ました。(永山)

◇おせち作り

グループホーム宝塚ちどりでは毎年元旦に、おせち料理をご利用者と一緒にお重に盛り付けをしています。さすが長年作ってきただけあって、皆様上手に盛り付けをされています。おせち料理を召し上がる時も「美味



しいなあ」と声があがっていました。特養でも給食委託会社である、東テスティパルさん特製

のおせちをお出ししました。両方すばらしい出来で皆様の評価も良かったです。また特養、グループホームでは季節にあった食事を提供して、ご利用者の皆様と一緒に楽しみを分かち合いたいと思います。(乾)



◇振る舞い雑煮

宝塚ちどりで毎年元日から三日まで振る舞い雑煮をお出ししています。ご利用者はもちろん、地域の方々に向けてコミュニケーションチームを開放しています。今年も地域の方に足を運んで頂き、三日間で沢山の方がちどり特製雑煮を食べに来てくださいました。お雑煮といっても全国に沢山の



種類があると思います。すが、ちどりでは白みそベースのお雑煮です。今年も始まったばかりです。一年よろしくお願い致します。(中島)

◇新年祝賀会

一月十一日に宝塚ちどりにて新年祝賀会を行いました。

今年もさくら会様のご協力により、お琴の演奏をして頂きました。お琴の素晴らしい音色にご利用者の皆様はうっとりされて



いました。その後は職員による余興の書初めを披露させて頂きました。「謹賀新年」と一文字ずつ書いていくとご利用者から歓声があがりました。年初めの行事として、皆様と楽しい時間を過ごせた事に感謝いたします。今年一年、皆



様のご多幸を職員一同心よりお祈り申し上げます。(須賀)

◇グループホーム

グループホームでは毎年恒例の初詣に伊和志津神社に出掛けてきました。外は寒かったです。ご利用者一人ひとり真剣にお参りされていました。健康を願ったり宝くじが当たるようお願いをしたり皆様様々なお願いでした。職員もご利用者皆様が元気に過ごせるようお願いをしてきました。(須賀)



編集後記

新年最初のなごみですが、新年早々から、風邪やインフルエンザが流行しています。手洗い・うがいをしっかり行い、体調管理・感染拡大防止に努め、今年一年も元気に過ごしましょう。(鎌倉)